

基本的な能の約束事にも触れながら、毎回ひとつの作品を取り上げます。単なるあらすじの説明ではなく、時代背景や登場人物の人間像、根底にある日本人独特の美意識や死生観など日本文化のさまざまに目を向けて、作品世界を掘り下げ、鑑賞する力を育てる講座です。

第15回 能『東北』を読み解く

タイトルの「東北」とは鬼門のこと。平安時代の京都では、悪事や禍をなす邪気が入り込むのを防ぐため東北の方向に鬼門封じの寺院が設けられました。作品の舞台の東北院もそうした寺のひとつで、寺の境内には和泉式部ゆかりの「軒端の梅」と伝わる古木が今も残っています。盛りの梅の美しさを背景に、歌舞の菩薩となって舞う和泉式部を主人公とする、王朝の雅な香りに満ちた作品です。

紫式部、清少納言と並び王朝の三才女と謳われ、恋多き女性として知られた和泉式部と、歌舞の菩薩との関係について考えます。

令和4年11月25日(金)

17:30開始(17時開場/19時終了予定)

会場:国立能楽堂 大講義室

(渋谷区千駄ヶ谷4-18-1)

要予約/定員80名

参加料:一般3,000円

R会員2,000円/S会員1,500円

青少年1,000円(満12歳~26歳未満)

※年令確認可能な証明書をお持ちください



講師プロフィール: 氷川まりこ (伝統文化ジャーナリスト)

横浜エフエム放送で開局準備から番組の企画・編成を担当。その後、フリーの放送作家、雑誌記者、編集者として幅広くトレンドの取材を重ね、1990年代以降は、能楽を中心に、茶、花、香、禅など室町期の東山文化の芸道、芸能を専門として、書籍や記事の編集・執筆、レクチャーなどを行なっている。豊かな経験と取材に裏づけられた知識を基に、多岐にわたるジャンルを縦横につなげて時代や文化をまるごととらえる力は評価が高く、多くの取材の指名を受けている。

【参加申込み】

■ 伝統文化交流協会予約サイト <https://www.tpac.info/events/detail/id=383>

■ メール tpacdentobunka@icloud.com 以下ご記入の上、お申込みください。

【講演名「11/25能楽鑑賞入門」/お名前/電話番号/申込人数】

後日、代金振り込みの案内メールをお送りします。



主催:一般社団法人伝統文化交流協会 共催:古典の日推進委員会 特別協力:ジャポニスム振興会

国立能楽堂公演のチケット手配も!

講座受講者でご希望の方には、取り上げた作品が上演される国立能楽堂定例公演の正面席チケット(有償・割引料金)をご用意いたします。上記講座申込と合わせて「東北チケット何枚」とお申込下さい(受付締切:11月14日)。お渡しは次回11/25の能楽鑑賞入門講座会場となります。

2023年1月20日(金)17時30分開演 定例公演

狂言『隠狸』(石田幸雄/和泉流)、能『東北』(浅井文義/観世流)

古典の日

『平成24年9月施行「古典の日に関する法律」により毎年11月1日が「古典の日」と制定され、国民が古典に親しみ心のよりどころになる機運が醸成されることが期待されています。』

新型コロナウイルス感染予防対策に関する注意事項です。必ずお読みください。

- 各自マスクをご持参の上、会場内では必ず着用をお願いいたします。
- ご来場者全員に検温と手指の消毒を実施させていただき、37.5度以上の発熱がみられる場合はご入場をお断りいたします。
- 客席は通常の約半数とさせていただきます。必ず事前予約をお願いいたします。
- 今後のウイルス感染等の状況によっては、定員数の増減や公演中止となる可能性もございます。予めご了承ください。